



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 名古屋銀行

コード番号 8522 URL <https://www.meigin.com/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 藤原 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 南出 政雄 TEL 052-951-5911

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無：有 決算補足説明資料は決算短信に添付しております。

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	49,149	△2.9	5,993	△17.0	4,062	△19.0
2020年3月期第3四半期	50,604	5.4	7,217	46.6	5,018	49.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 16,705百万円 (44.4%) 2020年3月期第3四半期 11,565百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	224.33	223.81
2020年3月期第3四半期	266.83	228.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,922,105	242,086	4.9
2020年3月期	3,934,962	226,666	5.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 241,331百万円 2020年3月期 225,922百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	35.00	ー	35.00	70.00
2021年3月期	ー	35.00	ー		
2021年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	67,100	0.1	8,100	28.5	7,500	62.1	円 銭 414.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	18,255,487株	2020年3月期	18,255,487株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	143,576株	2020年3月期	147,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	18,110,937株	2020年3月期3Q	18,808,124株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
3. 四半期決算補足説明資料	7
(1) 損益の状況(単体)	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	8
(3) 自己資本比率(国際統一基準)(単体・連結)	9
(4) 時価のある有価証券の評価損益(単体)	10
(5) 預金等・貸出金の残高(単体)	10
(参考) 預り資産残高(単体)	10
(6) 単体決算要約	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響を受けて感染者数が再び増加になり、社会経済活動の自粛等により消費が縮小し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当行の連結ベースでの経営成績は以下のとおりとなりました。

グループ全体の経常収益は、貸出金利息及び連結子会社の売上高等が増加したものの、有価証券利息配当金及び株式等売却益等が減少したことを主な要因として、前年同期に比べ1,455百万円減少し49,149百万円となりました。

経常費用は、人件費及び連結子会社の売上原価等が増加したものの、預金利息及び株式等償却等が減少したことを主な要因として、前年同期に比べ230百万円減少し43,156百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期に比べ1,224百万円減少し5,993百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ955百万円減少し4,062百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金の当第3四半期連結会計期間末残高につきましては、前連結会計年度末に比べ457,852百万円増加し3,965,400百万円となりました。預金の増加のうち、個人預金につきましては、前連結会計年度末に比べ144,413百万円の増加となりました。

貸出金の当第3四半期連結会計期間末残高につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けられたお客様への融資の取組増加等により、前連結会計年度末に比べ296,073百万円増加し3,112,793百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表しました通期の業績予想を修正しております。

詳しくは本日(2021年2月8日)付で別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	191,659	828,458
コールローン及び買入手形	2,169	1,651
有価証券	750,558	803,862
貸出金	2,816,720	3,112,793
外国為替	9,519	10,995
リース債権及びリース投資資産	37,667	38,175
その他資産	78,576	79,784
有形固定資産	36,120	36,537
無形固定資産	1,910	2,113
退職給付に係る資産	11,389	11,670
繰延税金資産	612	575
支払承諾見返	10,451	8,946
貸倒引当金	△12,392	△13,458
資産の部合計	3,934,962	4,922,105
負債の部		
預金	3,507,548	3,965,400
譲渡性預金	53,251	61,290
コールマネー及び売渡手形	8,469	8,555
債券貸借取引受入担保金	2,745	17,872
借入金	42,487	530,406
外国為替	33	3
社債	40,000	40,000
その他負債	21,175	20,880
賞与引当金	948	258
役員賞与引当金	38	29
退職給付に係る負債	4,052	3,803
役員退職慰労引当金	35	32
睡眠預金払戻損失引当金	425	331
偶発損失引当金	1,334	1,255
利息返還損失引当金	40	36
繰延税金負債	12,483	18,139
再評価に係る繰延税金負債	2,774	2,774
支払承諾	10,451	8,946
負債の部合計	3,708,295	4,680,018
純資産の部		
資本金	25,090	25,090
資本剰余金	21,231	21,231
利益剰余金	136,520	139,314
自己株式	△573	△559
株主資本合計	182,269	185,077
その他有価証券評価差額金	40,516	52,685
土地再評価差額金	3,427	3,427
退職給付に係る調整累計額	△291	141
その他の包括利益累計額合計	43,653	56,254
新株予約権	127	139
非支配株主持分	616	615
純資産の部合計	226,666	242,086
負債及び純資産の部合計	3,934,962	4,922,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	50,604	49,149
資金運用収益	22,885	23,152
(うち貸出金利息)	16,746	18,374
(うち有価証券利息配当金)	5,819	4,408
役務取引等収益	7,747	7,407
その他業務収益	16,409	17,300
その他経常収益	3,561	1,289
経常費用	43,387	43,156
資金調達費用	2,083	985
(うち預金利息)	697	363
役務取引等費用	2,224	2,047
その他業務費用	12,787	13,236
営業経費	23,336	24,154
その他経常費用	2,954	2,732
経常利益	7,217	5,993
特別利益	3	2
固定資産処分益	3	2
特別損失	127	1
固定資産処分損	55	1
減損損失	71	—
税金等調整前四半期純利益	7,094	5,993
法人税等	2,045	1,890
四半期純利益	5,048	4,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,018	4,062

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,048	4,102
その他の包括利益	6,516	12,602
その他有価証券評価差額金	6,269	12,169
退職給付に係る調整額	246	432
四半期包括利益	11,565	16,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,535	16,664
非支配株主に係る四半期包括利益	30	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

当行及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 四半期決算補足説明資料

(1) 損益の状況(単体)

当第3四半期の経常収益は、342億円(通期予想比73.1%)となりました。
 経常利益は55億円、四半期純利益は40億円となりました。
 与信関連費用は15億円となりました。

【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2020年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)(A)	2021年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)(B)	比較 (B)-(A)	2021年3月期 通期予想 (12ヵ月間)
経常収益	36,247	34,290	△1,956	46,900
業務粗利益 ①	28,183	29,767	1,583	
資金利益	21,676	22,874	1,197	
役務取引等利益	5,472	5,300	△171	
その他業務利益 (うち国債等債券損益) ②	1,034 (944)	1,592 (1,180)	557 (235)	
経費(除く臨時処理分)(△) ③	21,363	22,022	658	
人件費	12,291	12,546	255	
物件費	7,774	8,038	263	
税金	1,298	1,437	138	
実質業務純益(①-③) ④	6,820	7,745	925	
コア業務純益(④-②)	5,875	6,565	689	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,695	6,565	869	
一般貸倒引当金繰入額(△) ⑤	△474	502	977	
業務純益	7,295	7,243	△52	
臨時損益	△57	△1,652	△1,594	
不良債権処理額(△) ⑥	1,590	1,172	△417	
貸倒引当金戻入益 ⑦	-	-	-	
償却債権取立益	3	3	△0	
偶発損失引当金戻入益 ⑧	542	78	△464	
株式等関係損益	2,453	895	△1,557	
その他臨時損益	△1,466	△1,456	9	
経常利益	7,237	5,590	△1,646	7,600
特別損益	△127	△2	125	
税引前四半期純利益	7,109	5,588	△1,521	
法人税等(△)	1,761	1,542	△218	
四半期純利益	5,348	4,045	△1,302	7,500
与信関連費用(⑤+⑥-⑦-⑧)	572	1,596	1,023	

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)

金融再生法ベース開示不良債権額は、2019年12月末比39億円増加して593億円となり、対象債権合計比は、1.87%となりました。なお、2020年3月末比では、37億円増加しております。

【単体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2019年12月末 (A)	2020年12月末 (B)	比較 (B) - (A)	(参考) 2020年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,746	6,584	△162	6,891
危険債権	41,919	45,893	3,973	41,251
要管理債権	6,725	6,864	138	7,418
合計	55,391	59,341	3,950	55,562
対象債権合計	2,769,893	3,171,490	401,596	2,874,594
対象債権合計比(%)	2.00	1.87	△0.13	1.93

(3) 自己資本比率(国際統一基準) (単体・連結)

「第3の柱(市場規律)」に基づく「自己資本の構成に関する開示事項」並びに「レバレッジ比率に関する開示事項」及び「流動性カバレッジ比率に関する開示事項」につきましては当行ホームページ(<https://www.meigin.com/>)に掲載しております。

【単体】

(単位:億円)

[速報値]	2020年9月末	2020年12月末
1. 単体総自己資本比率(4/7)	12.69%	13.12%
2. 単体Tier1比率(5/7)	10.50%	10.93%
3. 単体普通株式等Tier1比率(6/7)	10.50%	10.93%
4. 単体における総自己資本の額	2,583	2,680
5. 単体におけるTier1資本の額	2,137	2,232
6. 単体における普通株式等Tier1資本の額	2,137	2,232
7. リスク・アセットの額	20,350	20,423
8. 単体総所要自己資本額(7×8%)	1,628	1,633

【連結】

(単位:億円)

[速報値]	2020年9月末	2020年12月末
1. 連結総自己資本比率(4/7)	12.86%	13.30%
2. 連結Tier1比率(5/7)	10.69%	11.13%
3. 連結普通株式等Tier1比率(6/7)	10.69%	11.12%
4. 連結における総自己資本の額	2,672	2,772
5. 連結におけるTier1資本の額	2,222	2,320
6. 連結における普通株式等Tier1資本の額	2,221	2,319
7. リスク・アセットの額	20,772	20,841
8. 連結総所要自己資本額(7×8%)	1,661	1,667

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、以下の手法を採用しております。

- ・信用リスクに関する手法: 標準的手法
- ・オペレーショナル・リスクに関する手法: 粗利益配分手法

小数点第2位未満を切り捨てにて表示しております。

(4) 時価のある有価証券の評価損益(単体)

その他有価証券の評価損益は、2019年12月末比49億円減少して、751億円の評価益となりました。

【単体】	(単位：百万円)						(単位：百万円)		
	2019年12月末			2020年12月末			(参考) 2020年3月末		
	評価損益		評価損	評価損益		評価損	評価損益		評価損
評価益	評価損	評価益		評価損	評価益		評価損		
その他有価証券	80,165	82,388	2,222	75,193	78,640	3,447	57,388	60,951	3,562
株式	78,153	78,865	712	75,268	76,084	815	57,812	57,973	160
債券	788	1,283	495	405	916	510	△29	895	924
その他	1,223	2,238	1,014	△480	1,640	2,120	△394	2,083	2,477

(注) 1. その他有価証券については、時価評価しておりますので、上記の表上の評価損益は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券は保有しておりません。

(5) 預金等・貸出金の残高(単体)

預金等残高(預金+譲渡性預金)は、2019年12月末比4,176億円増加し、4兆365億円となりました。そのうち個人預金は、2019年12月末比1,318億円増加し、2兆4,543億円となりました。

貸出金は、2019年12月末比4,008億円増加し、3兆1,207億円となりました。そのうち消費者ローンは2019年12月末比552億円増加し、9,847億円となりました。

【単体】	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2019年12月末 (A)	2020年12月末 (B)	比較 (B)-(A)	(参考) 2020年3月末
預金等	3,618,825	4,036,511	417,686	3,570,142
うち個人預金	2,322,518	2,454,341	131,822	2,309,928
貸出金	2,719,832	3,120,721	400,889	2,821,918
うち消費者ローン	929,464	984,723	55,259	946,147

(注) 預金等=預金+譲渡性預金

(参考) 預り資産残高(単体)

【単体】	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2019年12月末 (A)	2020年12月末 (B)	比較 (B)-(A)	(参考) 2020年3月末
投資信託	94,849	98,671	3,821	82,634
公共債	17,073	17,353	280	16,993
保険商品	302,554	314,639	12,085	306,772
外貨預金	35,654	32,365	△3,289	29,381
合計	450,131	463,029	12,897	435,781

(6) 単体決算要約

※ () は2019年12月期からの増減

<収益>		<費用>		<利益>		
資金運用収益 238億円(1億円増) 事業性貸出・住宅ローン・有価証券等による利息収益	—	資金調達費用 9億円(10億円減) 各種預金に対して支払う利息等	=	①資金利益 228億円(11億円増)		
					+	
役務取引等収益 74億円(3億円減) 投資信託の販売や振込みなど各種サービスによる受取手数料	—	役務取引等費用 21億円(1億円減) 支払為替手数料等銀行が支払う手数料	=	②役務取引等利益 53億円(1億円減)		
					+	
その他業務収益 16億円(5億円増) 外国為替売買益や債券の売却益等	—	その他業務費用 0億円(0億円減) 国債等債券の売却損等	=	③その他業務利益 15億円(5億円増) うち国債等債券損益 11億円(2億円増)		
業務粗利益 297億円(15億円増) ①資金利益+②役務取引等利益+③その他業務利益		一般貸倒引当金繰入額 5億円(9億円増)	=	業務純益 72億円(0億円減)		
		経費(除く臨時処理分) 220億円(6億円増)				
業務純益 72億円(0億円減)	+	臨時収益 12億円(22億円減) 株式等売却益、貸倒引当金戻入益、償却債権取立益等	—	臨時費用 29億円(6億円減) 不良債権処理及び株式等償却に関する費用等	=	経常利益 55億円(16億円減)
経常利益 55億円(16億円減)	+	特別利益 一億円(一億円) 固定資産処分益等	—	特別損失 0億円(1億円減) 固定資産処分損、減損損失等	=	税引前四半期純利益 55億円(15億円減)
税引前四半期純利益 55億円(15億円減)	—	法人税等 15億円(2億円減)	=	四半期純利益 40億円(13億円減)		

業務純益から一般貸倒引当金繰入額や債券の売却損益等を控除した収益力を示す指標として、実質業務純益・コア業務純益があります。

◎実質業務純益 77億円＝業務純益 72億円＋一般貸倒引当金繰入額 5億円

◎コア業務純益 65億円＝実質業務純益 77億円－国債等債券損益 11億円

※国債等債券損益(5勘定戻)・・・債券売却益＋債券償還益－債券売却損－債券償還損－債券償却